



平成 29 年 8 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社フルキャストホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役社長CEO 坂 卷 一 樹
 (コード番号 4848 東証第一部)
 問 い 合 わ せ 先 財務IR部長 朝 武 康 臣
 電 話 番 号 03-4530-4830

**業績予想値と決算値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに
 剰余金の配当(平成 29 年 12 月期中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ**

平成 29 年 2 月 10 日に公表いたしました、平成 29 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)の業績予想値と決算値に差異が生じたのでお知らせいたしますとともに、通期連結業績予想につきましても下記の通り修正することといたしました。

また、当社は、平成 29 年 8 月 4 日開催の取締役会において、平成 29 年 6 月 30 日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を行うことを決議し、加えて、通期連結業績予想の修正に伴い平成 29 年 12 月期期末配当予想を、下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と決算値との差異及び通期連結業績予想の修正について

1) 平成 29 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想値との差異(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,323	1,452	1,489	921	24.27
今回実績(B)	15,394	2,128	2,144	1,543	40.57
増減額(B-A)	1,071	675	656	622	—
増減率(%)	7.5	46.5	44.0	67.5	—
ご参考:前期第2四半期実績 (平成 28 年 12 月期第 2 四半期)	12,014	1,232	1,340	1,081	28.16

2) 平成 29 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,000	3,230	3,300	2,123	56.09
今回修正予想(B)	31,300	4,000	4,020	2,727	71.83
増減額(B-A)	1,300	770	720	604	—
増減率(%)	4.3	23.8	21.8	28.4	—
ご参考:前期実績 (平成 28 年 12 月期)	25,340	2,882	3,001	2,529	65.92

3) 差異及び修正の理由

平成29年12月期第2四半期連結累計期間の実績につきましては、短期業務支援事業における主力サービスである「アルバイト紹介」及び「代行」が伸張したことを主因とし、加えて、人件費を中心に販管費率を抑制したことで、平成29年12月期第2四半期連結累計期間業績予想に対し、売上高が7.5%、営業利益が46.5%、経常利益が44.0%それぞれ増加しました。

また、経常利益が増加したことを主因とし、加えて、第1四半期連結会計期間において、株式会社エフプレインの株式取得に伴い段階取得に係る差益(※)167百万円を特別利益に計上したことで、親会社株主に帰属する四半期純利益が平成29年12月期第2四半期連結累計期間業績予想に対し67.5%増加しました。

平成29年12月期通期連結業績予想につきましては、第3四半期連結会計期間以降に関しても、人材供給力を強化することで期末に向けて増加する顧客需要を取り込み、当第2四半期連結累計期間の業績トレンドを継続出来るものと判断したため、平成29年2月10日に公表した平成29年12月期通期連結業績予想を上方修正いたします。

※「段階取得に係る差益」とは、持分法適用関連会社であった株式会社エフプレイン株式の追加取得により子会社化した際に、従来の持分を時価で見直し、時価が簿価を上回っているために発生した現金の移動を伴わない差益であります。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について

1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年2月10日公表)	前期実績 (平成28年12月期中間配当)
基準日	平成29年6月30日	同左	平成28年6月30日
1株当たり配当金	12円00銭	12円00銭	10円00銭
配当金の総額	455百万円	—	383百万円
効力発生日	平成29年9月4日	—	平成28年9月5日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(注) 配当金総額は、百万円未満を四捨五入して表示しています。

2) 平成29年12月期期末配当予想の修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成29年2月10日発表)	—	12.00	—	12.00	24.00
今回修正予想	—	—	—	13.00	25.00
当期実績	—	12.00	—	—	—
前期実績 (平成28年12月期)	—	10.00	—	11.00	21.00

3) 中間配当及び期末配当予想修正の理由

当社は、調整後当期純利益(※)に対する総還元性向50%を目標とし、株主への利益還元の充実化を図る方針であります。

平成29年12月期の中間配当につきましては、業績等を勘案し、平成29年2月10日に公表した配当予想通り、1株につき12円の中間配当を実施いたします。

期末配当につきましては、前述の平成29年12月期通期連結業績予想の修正を踏まえ、平成29年2月10日に公表した配当予想12円から1円増配し、1株あたり13円に修正いたします。これにより、中間配当と合わせた当期の年間配当金予想は前期比4円増配となり、1株あたり25円となる予定です。

※ 調整後当期純利益は、繰越欠損金に対する繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額の影響を除いた親会社株主に帰属する当期純利益を言います。

以 上